

北の吉備路 環境保全活動

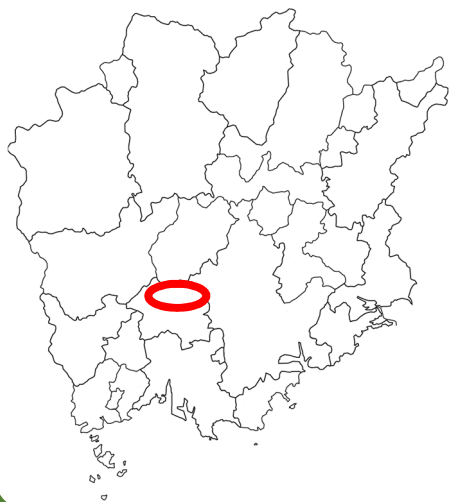
総社市の東北部及びその北に続く岡山市栗井の一部を、北の吉備路と
いいます。県南に分布する動植物に加え、本来県中北部に分布する動植
物も多く見られ、非常に多様性に富んだ、豊かで良好な自然環境を有し
ています。また、「鬼城山」を筆頭に古代から現代にいたるまでの歴史遺
産が点在しています。

北の吉備路保全協会は北の吉備路の保護活動を行っており、ヒイゴ池
湿地の管理、鬼城山ふるさと自然の道の草刈り及び整備、子供が自然体
験できる自然学校、北の吉備路で行われる年7回の自然観察会、自然保
護に関する講演会、10月頃に鬼城山周辺で外来植物の一掃大行動など
を総社市と共催で行っています。

北の吉備路の豊かな自然と歴史遺産を総合的に保全し、後世に引き継
いでいくとともに、地域住民の方に自然保護について関心を持ってもら
うことを目的として、北の吉備路保全協会は活動しています。

主な活動主体	北の吉備路保全協会・総社市
保護動植物の 位置付け	岡山県版レッドデータブック 2020 サギソウ、トキソウ、ハッチョウトンボなど

活動状況（写真提供：北の吉備路保全協会）



（左：自然学校）



（右：自然観察会）